



## 2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月10日

上場会社名 株式会社クリエイティブSDホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 山崎哲也 (TEL) 045 (914) 8241  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 2023年2月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	187,392	7.8	9,235	4.4	9,451	4.0	6,412	4.0
2022年5月期第2四半期	173,823	3.1	8,843	△8.7	9,088	△8.3	6,167	△8.4

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 6,432百万円(4.2%) 2022年5月期第2四半期 6,171百万円(△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	101.43	—
2022年5月期第2四半期	97.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	185,601	111,301	60.0
2022年5月期	176,910	106,323	60.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 111,301百万円 2022年5月期 106,323百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2023年5月期	—	25.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	376,800	7.4	18,950	4.3	19,380	3.8	12,700	0.8	200.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期2Q	66,819,342株	2022年5月期	66,819,342株
② 期末自己株式数	2023年5月期2Q	3,600,815株	2022年5月期	3,600,755株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期2Q	63,218,553株	2022年5月期2Q	63,218,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年6月1日～2022年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、経済活動正常化の動きがあるものの、原材料価格・原油価格の上昇、金融資本市場の変動などの影響による物価上昇により、先行き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争の激化に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが強まっており、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「生活・予防・医療・介護」の各領域において地域に貢献する総合ヘルスケアサポートを推進しております。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、EDLP(エブリデイ・ロープライス)を推進しつつ、日常生活に必要なものが一ヶ所で揃うワンストップショッピングのニーズに対応するため、生鮮食品・冷凍食品の品揃え拡充や、ドラッグストアへの調剤薬局併設に取り組み、小商圏における利便性及び専門性の向上に注力してまいりました。また、コロナ禍初期において全店一律で短縮した営業時間を周辺環境や地域のお客様のニーズの変化に合わせて店舗毎に見直しを行い、130店舗超において営業時間を延長いたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの流行による感染対策商品、抗原検査キットや総合感冒薬等の需要増に加えて、物価上昇が続く節約志向が一段と高まりを見せるなか、生活必需品を始めとしたEDLP施策が奏功し、売上高は前年同期・計画を上回りました。経費面につきましては、原油価格上昇による水道光熱費の高騰、調剤薬局併設の推進や最低賃金の上昇による人件費増の影響が見られたものの、可能な範囲での節電施策の徹底や、現場での人時適正化等の経費抑制に努めました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、16店舗の出店を行いました。一方で契約期間満了により1店舗の閉鎖を行いました。調剤薬局の新規出店につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を26店舗開局した一方で、契約期間満了により調剤専門薬局1店舗の閉鎖を行いました。

#### <スーパーマーケット事業>

神奈川県川崎市麻生区および多摩区内において食品スーパー「ゆりストア」を展開しております。個店競争力の強化・ドラッグストア事業とのシナジー創出に向けて、既存の食品スーパーをドラッグストアと生鮮食品専門店の複合業態へ順次改装転換しております。当第2四半期連結累計期間においては、前期に引き続き1店舗を複合業態における生鮮食品専門店へ改装転換した一方、経営効率化の観点から食品スーパー1店舗の閉鎖を行いました。

#### <介護事業>

高齢化が進む中、介護スタッフのもと安心・安全に生活したいという高齢者の方のために、美味しい食事が特徴の介護付有料老人ホームを、またできるだけご自宅で暮らしたいという方のために、筋力などの機能維持・回復訓練を特徴とするデイサービスセンターを運営しております。有料老人ホーム、デイサービスとも、新型コロナウイルス感染症防止に留意しつつ、当社グループの特徴である接遇に力を入れ、ご利用者様の満足度アップ及び稼働率の向上を図ってまいりました。当期におきましては、経営効率化の観点からデイサービスセンター2施設の閉鎖を行いました。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア701店舗、調剤薬局につきましては調剤専門薬局35店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局301店舗の合計336店舗となり、スーパーマーケット事業は食品スーパー2店舗、生鮮食品専門店2店舗、介護事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービスセンター37施設となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高187,392百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は9,235百万円(前年同期比4.4%増)、経常利益は9,451百万円(前年同期比4.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,412百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は185,601百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,690百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金が1,321百万円、商品が1,636百万円、固定資産が10,774百万円増加し、現金及び預金が5,219百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は74,299百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,712百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金が1,864百万円、未払法人税等が294百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金が1,089百万円、未払費用が382百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は111,301百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,978百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払いが1,454百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益6,412百万円を計上したことなどによるものです。

### (キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は36,447百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,219百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8,248百万円（前年同期比2,027百万円の収入増）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9,440百万円、減価償却費2,028百万円、法人税等の還付額799百万円、棚卸資産の増加1,644百万円、仕入債務の増加1,864百万円及び法人税等の支払額3,965百万円等の結果であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12,013百万円（前年同期比6,445百万円の支出増）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出9,298百万円及び出店仮勘定による支出2,934百万円等の結果であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,454百万円（前年同期比0百万円の支出減）となりました。これは配当金の支払1,454百万円等の結果であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間連結業績動向等を踏まえ、2022年7月11日に公表した連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2023年1月10日）公表の「第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,067	36,847
売掛金	11,158	12,480
商品	35,615	37,252
その他	9,274	9,451
流動資産合計	98,115	96,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,166	24,742
土地	17,196	24,169
その他(純額)	4,407	4,511
有形固定資産合計	44,770	53,423
無形固定資産		
のれん	593	533
その他	918	954
無形固定資産合計	1,511	1,487
投資その他の資産		
長期貸付金	9,868	9,718
敷金及び保証金	11,251	11,349
その他	11,436	13,633
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	32,513	34,658
固定資産合計	78,795	89,570
資産合計	176,910	185,601
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,228	46,092
未払法人税等	3,070	3,365
賞与引当金	357	317
役員賞与引当金	145	72
ポイント引当金	164	173
資産除去債務	4	40
その他	14,628	16,000
流動負債合計	62,598	66,062
固定負債		
退職給付に係る負債	3,150	3,338
資産除去債務	3,417	3,492
転貸損失引当金	37	34
その他	1,383	1,372
固定負債合計	7,988	8,237
負債合計	70,587	74,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	108,850	113,808
自己株式	△4,393	△4,393
株主資本合計	106,391	111,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	29
退職給付に係る調整累計額	△91	△77
その他の包括利益累計額合計	△68	△47
純資産合計	106,323	111,301
負債純資産合計	176,910	185,601

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
売上高	173,823	187,392
売上原価	126,854	136,402
売上総利益	46,968	50,989
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	146	173
給料及び手当	16,012	17,009
賞与引当金繰入額	269	289
役員賞与引当金繰入額	65	68
退職給付費用	223	406
減価償却費	1,841	1,962
地代家賃	7,864	8,243
その他	11,704	13,601
販売費及び一般管理費合計	38,125	41,754
営業利益	8,843	9,235
営業外収益		
受取利息	46	44
受取配当金	0	0
受取賃貸料	149	161
その他	134	122
営業外収益合計	331	329
営業外費用		
賃貸費用	84	83
その他	1	29
営業外費用合計	85	112
経常利益	9,088	9,451
特別損失		
固定資産除却損	3	7
店舗閉鎖損失	—	3
特別損失合計	3	10
税金等調整前四半期純利益	9,084	9,440
法人税等	2,917	3,028
四半期純利益	6,167	6,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,167	6,412



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	6,167	6,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	5
退職給付に係る調整額	5	14
その他の包括利益合計	4	20
四半期包括利益	6,171	6,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,171	6,432
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,084	9,440
減価償却費	1,919	2,028
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△40
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53	△72
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	19	8
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	8	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	177	209
受取利息及び受取配当金	△46	△45
売上債権の増減額 (△は増加)	△512	△1,321
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,541	△1,644
仕入債務の増減額 (△は減少)	△233	1,864
前受金の増減額 (△は減少)	166	85
その他	562	904
小計	9,522	11,412
利息及び配当金の受取額	1	1
法人税等の支払額	△4,227	△3,965
法人税等の還付額	924	799
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,220	8,248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,750	△9,298
無形固定資産の取得による支出	△103	△118
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	—	400
長期貸付けによる支出	△258	△158
長期貸付金の回収による収入	490	497
敷金及び保証金の差入による支出	△88	△21
敷金及び保証金の回収による収入	71	74
長期前払費用の取得による支出	△18	△27
出店仮勘定による支出	△2,370	△2,934
供託金の預入による支出	△137	△29
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,567	△12,013
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,454	△1,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,454	△1,454
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△801	△5,219
現金及び現金同等物の期首残高	39,282	41,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,481	36,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## (1) 販売実績

## ①商品部門別売上実績

当第2四半期連結累計期間における売上実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	51,050	111.6
O T C	30,588	108.2
調剤薬局	20,461	117.1
化粧品	22,286	106.6
食料品	73,549	108.5
日用雑貨品	28,907	104.0
その他	8,811	105.9
小 計	184,605	108.2
スーパーマーケット事業	1,681	76.3
介護事業		
有料老人ホーム	356	93.5
デイサービス	689	100.7
小 計	1,046	98.1
顧客との契約から生じる収益	187,333	107.8
その他の収益(注)	58	—
合 計	187,392	107.8

(注) その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入が含まれております。

## ②地区別売上実績

当第2四半期連結累計期間における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	107,978	62.1	116,461	62.1
東京都	24,878	14.3	27,258	14.5
静岡県	19,755	11.4	20,529	11.0
千葉県	12,296	7.1	13,574	7.2
その他	8,915	5.1	9,569	5.1
合 計	173,823	100.0	187,392	100.0

## (2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	29,888	109.4
OTC	17,931	107.7
調剤薬局	11,957	109.4
化粧品	14,466	106.9
食料品	63,752	108.8
日用雑貨品	20,530	105.0
その他	7,125	107.0
小計	135,763	108.0
スーパーマーケット事業	1,270	75.4
介護事業		
有料老人ホーム	—	—
デイサービス	—	—
小計	—	—
顧客との契約から生じる収益に対する仕入	137,034	107.6
その他の収益	—	—
合計	137,034	107.6